

血液製剤に関する医療機関からの感染症報告事例等について

- 感染症報告事例のまとめ及び一覧(令和2年12月～令和3年2月)

感染症報告事例のまとめ

(令和2年12月～令和3年2月報告分)

- 1 令和2年12月～令和3年2月に報告(新規及び追加)があった感染症報告は、輸血用血液製剤14件、血漿分画製剤1件である。うち、輸血用血液製剤との因果関係が否定された報告は2件、血漿分画製剤との因果関係が否定された報告は0件であった。

輸血用血液製剤による病原体感染症報告事例の内訳(因果関係が否定された報告事例を除く)は、

- (1) HBV 感染： 2件
- (2) HCV 感染： 2件
- (3) HIV 感染： 0件
- (4) その他： 8件 (HEV 感染1件、CMV 感染1件、細菌等6件)

2 HBV 感染報告事例

- (1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は3件。
- (2) 上記(1)のうち、献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は0件。
- (3) 劇症化又は輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は0件。

3 HCV 感染報告事例

- (1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は2件。
- (2) 上記(1)のうち、献血者の保管検体の個別 NAT 陽性の事例は0件。
- (3) 劇症化又は輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は0件。

4 HIV 感染報告事例

- (1) 輸血後に抗体検査等が陽性であった事例は0件。

5 その他の感染症報告事例

- (1) B型肝炎及びC型肝炎以外の肝炎ウイルス感染報告事例は2件。
- (2) 細菌等感染報告事例において、当該輸血用血液の使用済みバッグを用いた無菌試験が陽性事例は0件。
- (3) 上記(2)のうち、輸血後に死亡(原疾患又は他の原因による死亡を除く)したとの報告を受けた事例は0件。

感染症報告事例一覧

PMDA提出資料より血液対策課作成

国内輸血用血液製剤

日赤番号	識別番号	報告受領日	販売名(一般名)	患者性別	年代	原疾患(簡略名)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査(年月)	日赤投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	供血者再献血	同一供血者製剤確保	同一供血者製剤使用	重篤性(担当医の見解)	重篤性(企業の見解)	転帰	
輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む)																							
献血者の個別NATが陽性の事例																							
該当例なし																							
輸血後の抗体検査等で陽性であった事例																							
PDI-3-21-00002	AA-20000059	2021/1/12	新鮮凍結血漿-LR(新鮮凍結人血漿) 照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射)) 照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	男	60	循環器疾患	B型肝炎	20/09		HBsAg(-) (20/08) HBcAb(-) (20/09)	HBV-DNA(+) (20/11) HBsAg(+) (21/01) HBV-DNA(+), HBsAg(+), HBeAg(+), HBeAb(-) (21/02) HBV-DNA(+), HBsAg(+), HBeAg(+), HBeAb(-) (21/02)	HBV-DNA(-), HBsAg(-), HBeAb(-) (20/09)	HBV-DNA(+), HBsAg(+), HBeAb(-), HBeAg(+), HBeAb(-) (21/01)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	24名の個別NATはHBV-DNA(-)		※献血者の再献血輸血に使用された血液の献血者1名は、その後の献血時にHBV関連検査が陽性であった。当該献血者 2019年12月 HBV関連検査陰性 次回献血 2020年3月 HBV-NAT陽性 ※ウイルス相同性確認 献血者種別別血漿の検体と患者検体中のウイルスの塩基配列を調査したところ、患者検体中に複数株の存在が示唆されたが、このうちの1株と献血者株は検査した範囲(PreS2領域を含む領域の前半部1,596 bp及びCP/PreC領域223 bp)で全て一致した。献血者株及び患者株のHBVはgenotype Aであった。 ※HBV-DNA陽性献血者に係る情報 同一採血番号 1本の赤血球液-LRを製造。赤血球液-LRは医療機関に供給済み。	10/23 (HBV関連検査陰性)	10本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LR、8本の赤血球液-LRを医療機関へ供給済み。	原料血漿は全て使用済み。赤血球液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	重篤	未回復
PDI-3-21-00006	AA-20000064	2021/2/1	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	女	90	その他の疾患 消化器疾患 腎・泌尿器系疾患	B型肝炎	20/07		HBsAg(-) (20/04)	HBsAg(+), HBeAb(-) (21/01)	(検体なし)	HBV-DNA(+), HBsAg(+), HBeAb(-), HBeAg(+), HBeAb(-) (21/01)	1名の個別NATはHBV-DNA(-)			0 / 1	1本の原料血漿を製造。	使用済み。	非重篤	重篤	未回復	
PDI-3-21-00009	AA-20000067	2021/2/19	赤血球液-LR(人赤血球液) 照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	女	20	循環器疾患 循環器疾患 腎・泌尿器系疾患	B型肝炎	20/02-20/09		HBsAg(-) (20/08) HBsAb(-), HBeAb(-) (20/09) HBsAg(+), HBeAb(-) (21/02) HBV-DNA(-), HBsAg(-), HBeAb(-), HBeAg(-), HBeAb(-) (21/02)	実施せず。	実施せず。	実施せず。	6名の個別NATはHBV-DNA(-)	医師・企業共に因果関係を否定し、報告対象外	0/6	2本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿-LRを製造。新鮮凍結血漿-LRは2本確保済み。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿-LRは2本医療機関へ供給済み。	非重篤	重篤	不明		

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む)																						
献血者の個別NATが陽性の事例																						
該当例なし																						
輸血後の抗体検査等で陽性であった事例																						
PDI-3-20-00052	AA-20000054	2020/12/7	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	-	-	消化器疾患	C型肝炎	20/08		HCVコア抗原(-), HCV-Ab(-) (20/08)	HCVコア抗原(+) (20/11)	(検体なし)	(検体なし)	-	4名の個別NATはHCV-RNA(-)		4/4 (HCV関連検査陰性)	4本の原料血漿を製造。	全て使用済み。	非重篤	重篤	未回復
PDI-3-20-00065	AA-20000057	2020/12/25	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	男	60	腎・泌尿器系疾患 脳疾患 糖尿病	C型肝炎	20/08-20/10		HCV-Ab(-) (19/12)	HCVコア抗原(-) (20/09) HCVコア抗原(-) (20/12)の検査結果を受けて保存検体にて検査実施) (20/09) HCVコア抗原(-) (20/12)の検査結果を受けて保存検体にて検査実施) (20/10) HCVコア抗原(+) (20/12)の検査結果を受けて保存検体にて検査実施) (20/10) HCVコア抗原(+) (20/12)の検査結果を受けて保存検体にて検査実施) (20/10) HCVコア抗原(+), HCV-Ab(-) (20/12) HCVコア抗原(+) (20/12)	HCV-RNA(-), HCV-Ab(-) (20/08)	HCV-RNA(+), HCV-Ab(-) (20/10)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	9名の個別NATはHCV-RNA(-)		1/9 (HCV関連検査陰性)	9本の原料血漿を製造。全て確保済み。		重篤	重篤	未回復

輸血によるHEV感染報告例(疑い例を含む)																					
献血者の個別NATが陽性の事例																					
該当例なし																					
輸血後の抗体検査等で陽性であった事例																					
PDI-3-21-00003	AA-20000061	2021/1/19	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	女	50	血液腫瘍	E型肝炎	20/09		HEV-IgA-Ab(+) (21/01)	HEV-RNA(-), HEV-IgA-Ab(-), HEV-IgM-Ab(-), HEV-IgG-Ab(-) (20/09)	HEV-RNA(+), HEV-IgA-Ab(+), HEV-IgM-Ab(-), HEV-IgG-Ab(+), HEV-IgG-Ab(-) (21/01)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	1名の個別NATはHEV-RNA(-)			1本の原料血漿を製造。確保済み。		重篤	重篤	軽快
PDI-3-21-00007	AA-20000065	2021/2/3	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射)) 新鮮凍結血漿-LR(新鮮凍結人血漿) 照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	女	70	循環器疾患	E型肝炎	20/12		HEV-IgA-Ab(+) (21/01)	HEV-RNA(-), HEV-IgA-Ab(+), HEV-IgM-Ab(-), HEV-IgG-Ab(-) (20/12)	HEV-RNA(-), HEV-IgA-Ab(+), HEV-IgM-Ab(-), HEV-IgG-Ab(-) (21/01) HEV-RNA(-), HEV-IgA-Ab(+), HEV-IgM-Ab(-), HEV-IgG-Ab(-) (21/02)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	18名の個別NATはHEV-RNA(-)	医師・企業共に因果関係を否定し、報告対象外。		3本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿-LR、2本の濃厚血小板-LR、10本の濃厚血小板-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	濃厚血小板-LRは全て医療機関へ供給済み。赤血球液-LRは1本医療機関へ供給済み。	重篤	重篤	回復

輸血によるサイトメガロウイルス感染報告例(疑い例を含む)																						
献血者の個別NATが陽性の事例																						
該当例なし																						
輸血後の抗体検査等で陽性であった事例																						
PDI-3-21-00005	AA-20000063	2021/1/26	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射)) 照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	男	50	血液腫瘍	サイトメガロウイルス感染	20/10-20/11		CMV-IgG-Ab(-) (20/10)	CMV-IgG-Ab(+) (20/11) CMV-IgG-Ab(+) (20/11)	CMV-DNA(-), CMV-IgM-Ab(-), CMV-IgG-Ab(-) (20/10)	CMV-DNA(+), CMV-IgM-Ab(-), CMV-IgG-Ab(-) (20/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	13名の個別NATはCMV-DNA(-)			12本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LR、9本の濃厚血小板-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	濃厚血小板-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	重篤	未回復

感染症報告事例一覧

PMDA提出資料より血液対策課作成

国内輸血用血液製剤

日赤番号	識別番号	報告受領日	販売名(一般名)	患者性別	年代	原疾患(簡略名)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査(年月)	日赤投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	供血者再献血	同一供血者製剤確保	同一供血者製剤使用	重篤性(担当医の見解)	重篤性(企業の見解)	転帰
細菌等感染報告例(疑い例を含む)																						
PDI-3-20-00053	AA-20000055	2020/12/14	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	男	80	血液疾患 血液腫瘍	菌血症	20/12	輸血開始8時間53分前 BT 36.7℃, BP 111/93 mmHg, HR 93 /min, SpO2 99%。	輸血開始10分後 BT 37.4℃, BP 110/65 mmHg, HR 89 /min, SpO2 94%。 輸血開始15分後 観測と共に意識レベル低下(GCS E4V5M6-E3V1M4), SpO2 80%台。 BT 37.4℃, BP 200 mmHg, HR 140 /min, RR 18-20 /min, SpO2 80%, 全身紅斑なし, 末梢冷感なし。 輸血開始25分後 BT 37.1℃, BP 175/100 mmHg, HR 139 /min, SpO2 99%(O2 5 L/min)。 輸血開始37分後 血液ガス検査にて, pH 7.452, PaO2 111 mmHg, PaCO2 22.4 mmHg, SaO2 98.7%(O2 マスク 5 L/min)。 輸血開始50分後 ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg+α-クロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg静脈内点滴投与, BP 170-200 mmHgを推移。 輸血開始55分後 観測やや軽快, BP 142/115 mmHg, HR 117 /min, SpO2 99%(O2 5 L/min), 血液培養検査実施。 輸血開始1時間10分後 BT 38.7℃, BP 120/78 mmHg, HR 173 /min, SpO2 99%(O2 5 L/min)。 BT 39-40℃, BP 120/80 mmHg, HR 140 /min, RR 18 /min, SpO2 100%, GCS E3V4M5, 心電図にて, 洞調律, 頻脈あり。 輸血開始2時間30分後 観測やや軽快, SpO2 99%台, 生理食塩水 50 mLの投与でBT 38.2℃, BP 98/52 mmHg, HR 63 /min。 輸血開始2時間30分後 一過性にBP 80/50 mmHgに低下, 生理食塩水 50 mLの投与でBT 110/70 mmHgに軽快。 輸血開始5時間5分後 BT 38.2℃, BP 98/52 mmHg, HR 63 /min。 胸部聴診にて, 異常なし。 輸血翌日 BT 38.1℃, BP 127/96 mmHg, HR 138 /min, SpO2 98%, GCS E3V3M5(せん妄あり)。 BP 60/40 mmHgに低下し, 一時的にニルアドレナリンによる循環サポートを必要とした。 WBC 7000 /μL, CRP 6.6 mg/dL 尿中細菌検出あり。 輸血日実施の患者血液培養検査より, グラム陰性桿菌を検出。後に, <i>Escherichia coli</i> を同定。 輸血2日後 血圧低下軽快。 その後は小康状態を維持。 輸血3日後 エントキシン陰性。						被疑薬: 採血7日目の照射赤血球液-LR(1本)			1本の原料血漿を製造, 確保済み。	重篤	重篤	軽快
PDI-3-20-00064	AA-20000056	2020/12/16	照射赤血球液-LR(人赤血球液(放射線照射))	男	10	血液疾患	細菌感染	20/12	輸血開始5分前 BT 37.2℃, BP 101/50 mmHg, HR 100 /min。	輸血開始10分後 BT 37.1℃, BP 104/49 mmHg, HR 100 /min。 輸血開始3時間後 輸血終了。 輸血終了2分後 BT 37.8℃, BP 96/45 mmHg, HR 90 /min。 輸血終了1時間後 悪寒あり。 輸血終了1時間30分後 血液培養検査実施。 輸血終了4時間後 BT 38.1℃, BP 100/56 mmHg, HR 92 /min。 輸血終了7時間34分後 BT 38.7℃, BP 108/58 mmHg, HR 102 /min。 輸血翌日 血液培養検査実施。 血液培養検査実施45分後 BT 39.3℃, BP 102/63 mmHg, HR 122 /min。 血液培養検査実施90分後 セフェピム塩酸塩水和物投与。 BT 38.7℃。 グラム陽性球菌敗血症発症。 血液培養検査実施90分後 38.0℃。 血液培養検査実施9時間30分後 バンコマイシン塩酸塩水和物投与は1回で終了。 血液培養検査実施11時間4分後 BT 37.4℃。 血液培養検査実施13時間30分後 BT 38.4℃。 血液培養検査実施15時間30分後 BT 37.5℃。 以降, 軽快。 輸血日及び輸血翌日実施の患者血液培養検査より, methicillin-resistant <i>Staphylococcus epidermidis</i> を同定。					被疑薬: 採血13日目の照射赤血球液-LR(1本)			1本の原料血漿を製造, 確保済み。	非重篤	重篤	回復	
PDI-3-21-00001	AA-20000058	2021/1/6	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	男	60	血液腫瘍	細菌感染	21/01	輸血開始3時間前 体調不良なし。血液培養検査実施。 輸血開始18時間45分前 BT 36.8℃, BP 122/77 mmHg, HR 83 /min, SpO2 98%。	輸血開始18分後 BT 36.8℃, BP 127/77 mmHg, HR 86 /min, SpO2 98%。 輸血開始39分後 BT 36.5℃, BP 111/71 mmHg, HR 81 /min, SpO2 98%。 輸血開始50-60分後 悪寒, 観測が出現。輸血中止。血液培養検査実施。α-クロルフェニラミンマレイン酸塩, ファモチジン投与。 輸血開始1時間後 胸部聴診にて, 異常なし。 輸血開始1時間14分後 BT 37.0℃, BP 123/67 mmHg, HR 90 /min, SpO2 98%。 輸血開始1時間44分後 BT 38.7℃, BP 141/67 mmHg, HR 101 /min, SpO2 97%。 輸血開始2時間2分後 BT 39.3℃, 血液培養検査実施。セフェピム塩酸塩水和物, グアブマイン投与, HR 100 /minの頻脈も血圧低下なし。 輸血開始5時間5分後 胸部CT検査にて, 感染巣やうっ血性心不全の像なし(腹部まで施行)。 輸血開始8時間39分後 BT 37.6℃, BP 103/66 mmHg, HR 90 /min, SpO2 99%。 輸血翌日 軽快。 輸血日輸血前及び輸血中止直後に実施した患者血液培養検査は陰性。 輸血日輸血開始2時間後実施の患者血液培養検査より, 表皮ブドウ球菌を同定。					被疑薬: 採血3日目の照射濃厚血小板-LR(1本)			1本の濃厚血小板-LRを製造, 確保済み。	非重篤	重篤	回復	
PDI-3-21-00004	AA-20000062	2021/1/26	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	女	80	消化器腫瘍 血液疾患	菌血症	21/01	輸血開始9時間4分前 BT 36.7℃, BP 104/61 mmHg, HR 61 /min, SpO2 98%。 輸血開始4時間4分前 BP 120/70 mmHg, O2投与なし。	輸血開始5分後 背部にほてり感あるも, すぐに消失, 呼吸苦なし, 掻痒なし, HR 80台 /min, SpO2 94%。 輸血終了。 輸血終了1時間16分後 輸血終了直後, 悪寒あり, 顔色不良, 震えのため血圧測定できず, 発疹なし, BT 38.4℃, HR 140 /min, SpO2 86%, O2 カララ 3 L/min開始。 輸血開始2時間14分後 BT 40.0℃, BP 104/51 mmHg, HR 119 /min, SpO2 94%(O2 3 L/min), 血液培養検査実施。細胞外液補充500 mL投与開始。 悪寒消失, 発汗あり, 体温上昇しきたと判断し, アセトアミノフェン 500 mg /15分投与開始。 輸血開始4時間26分後 BT 37.4℃, 血小板低下に対し, メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム 500 mg投与。 輸血翌日 BT 36.2℃, BP 106/61 mmHg, HR 51 /min, SpO2 98%, O2 3 L/min→2 L/minへ減量。 以後, 発熱なく経過。 輸血9日後 輸血日実施の患者血液培養検査は陰性。					被疑薬: 採血3日目の照射濃厚血小板-LR(1本)			1本の原料血漿を製造, 確保済み。	非重篤	重篤	回復	
PDI-3-21-00008	AA-20000066	2021/2/8	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	女	80	血液腫瘍	細菌感染	21/02	輸血開始2分前 BT 36.8℃, BP 143/77 mmHg, HR 77 /min。 輸血開始時 α-クロルフェニラミンマレイン酸塩前投薬。	輸血開始時 BT 36.7℃, BP 104/51 mmHg, HR 80 /min, SpO2 94%。 輸血開始3分後 BT 36.7℃, BP 142/78 mmHg, HR 83 /min, SpO2 95%。 輸血開始38分後 腹痛, 嘔吐, 悪寒あり, 手指冷感あり, BP 154/80 mmHg, SpO2測定不可。 血液培養検査実施。 輸血開始1時間後 顔色改善, 悪寒軽減, BT 37.5℃, BP 136/60 mmHg, HR 101 /min, SpO2 86%, O2 カララ 2 L/min投与開始し, SpO2 93%まで改善。 輸血開始2時間43分後 BT 38.1℃, 悪寒消失, 体熱感あり, アセトアミノフェン内服。 輸血開始2時間44分後 BT 38.1℃, BP 129/71 mmHg, HR 100 /min。 輸血開始6時間20分後 BT 36.8℃, BP 113/79 mmHg, HR 73 /min。 輸血開始6時間52分後 症状なし, BT 36.8℃。 輸血7日後 輸血日実施の患者血液培養検査は陰性。					被疑薬: 採血3日目の照射濃厚血小板-LR(1本)			1本の濃厚血小板-LR, 1本の原料血漿を製造, 原料血漿は確保済み。	濃厚血小板-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	重篤	回復
PDI-3-21-00010	AA-20000068	2021/2/26	照射濃厚血小板-LR(人血小板濃厚液(放射線照射))	女	10	血液腫瘍	敗血症	21/02	輸血開始5日前 発熱性好中球少症に対し, セフトゾラン塩酸塩, アルベカン硫酸塩投与開始。 輸血日 α-クロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg+グリチルリチン酸-アンモニウム-グリシムル-ステイン塩酸塩水和物 20 mL静脈内投与(前投薬)。 輸血開始2分前 BT 37.3℃, BP 110/68 mmHg, HR 99 /min, SpO2 98%。	輸血開始15分後 BT 36.9℃, BP 109/62 mmHg, HR 74 /min, SpO2 98%。 輸血開始1時間1分後 BT 36.3℃, BP 109/65 mmHg, HR 85 /min, SpO2 99%。 輸血開始1時間53分後 発熱あり, BT 38.5℃, 観測, 蕁麻疹出現。 輸血開始2時間2分後 BT 38.5℃, BP 113/74 mmHg, HR 119 /min, SpO2 100%。 輸血開始2時間15分後 ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 300 mg+生理食塩水 50 mL投与開始。悪寒持続。 輸血開始2時間47分後 ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム投与終了, BT 38.6℃, 顔面, 嘔吐あり。 輸血開始2時間49分後 輸血中止。 輸血中止37分後 BT 39.9℃, アセトアミノフェン 500 mg投与。 輸血翌日 BT 39.8℃, HR 128 /min, SpO2 100%。 体温測定3時間後 BT 39.3℃, 発熱持続。 体温測定3時間1分後 血液培養検査実施。抗生剤をセフトゾラン塩酸塩からドキシペナム水和物へ変更。 体温測定3時間25分後 α4+β2免疫糖タンパク質抗体を投与開始。フィラグラスチン(遺伝子転換) 300 μg投与。 体温測定8時間21分後 BT 39.2℃, 発熱持続。 体温測定12時間51分後 BT 36.7℃, BP 114/70 mmHg, HR 116 /min, SpO2 100%。 以降, 発熱維持。 輸血3日後 輸血日実施の患者血液培養検査は陰性。					被疑薬: 採血3日目の照射濃厚血小板-LR(1本)			1本の原料血漿, 1本の濃厚血小板-LRを製造, 原料血漿は確保済み。	濃厚血小板-LRは医療機関へ供給済み。	重篤	重篤	軽快

感染症報告事例一覧

PMDA提出資料より血液対策課作成

国内血漿分画製剤

識別番号	報告受理日	販売名(一般名)	患者性別	年代	原疾患(簡略名)	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	患者検体確保	変血者個別NAT	原料血漿・製品NAT検査(再検査・製造時検査の別)	併用血液製剤等	備考	ロット番号	同一製剤ロット使用状況	重篤性(担当医の見解)	重篤性(企業の見解)	転帰
AA-20000060	2021/1/13	コンコエイトHT(乾燥濃縮人血液凝固第8因子)	男	40	血液疾患	HIV感染 C型肝炎	-	-	-	-	-	-	-	文献からの情報。 投与された血液製剤は過去の血液製剤であると考えられ、現在の製剤による感染症報告ではない。	入手不可	-	-	重篤	未回復 未回復